



田原本町に道の駅『レスティ唐古・鍵』がオープン ～国史跡『唐古・鍵遺跡史跡公園』と一体になった新しい交流施設の誕生～

■県内14番目の道の駅として4月20日にオープン

奈良県田原本町にある「唐古・鍵遺跡」は弥生時代を代表する大規模な環濠集落遺跡で、1999年に国史跡に指定されている。その遺跡を整備した『唐古・鍵遺跡史跡公園』（2018年4月17日開園）と国道24号をはさんで隣接する場所に、道の駅『レスティ唐古・鍵』が同年4月20日にオープンした。奈良県中南和地域の観光の玄関口として、史跡公園と一体となって「田原本でこそのもてなし」を届け、連日にぎわっている。

■いろんなグルメやイベントが目白押し

1階「交流エリア」では、地元産の新鮮野菜や果物、奈良の土産物や特産品などを販売。焼きたてパンを提供する Kagi Bakery の「黄金の生食パン・極」は焼き上がりごとに順番待ちの人気を集めている。フロア内では遺跡の歴史や中南和地域の観光情報も提供し、「情報発信基地」としての役割も重視している。

2階「体験エリア」では、からこカフェで種類豊富なオリジナルの「ドッグサンド」を提供。道の駅のすぐ近隣に UCC グループ創業者・上島忠雄氏の生家がある縁で、同社が開発した「アイスブリュードコーヒー」（窒素ガスでビールのようになめらかな泡立ちにしたアイスコーヒー）を全国の道の駅で初めて販売している。多目的室では土器作りなど弥生時代の体験学習が可能。またこの部屋は誰でも借りることができ、手芸・ダンス・生け花などの各種ワークショップや様々なイベントに活発に活用されている。

3階「展望エリア」からは、大和青垣・二上山の眺望や隣接する史跡公園を一望できる。

■様々な人を『つなぐ』交流施設を目指す

道の駅の運営を担当する指定管理者『奈良交通株式会社』の西村元伸^{もとのぶ}駅長は、「地元客で日常的

にぎわい、観光客は非日常感が楽しめるような、様々な人を『つなぐ』交流施設を目指したい。地元の農産物や特産品を持ち込んで売ったり、ワークショップに使ったり、情報収集してほっと休憩できたりと、ここに集まる様々な方々に『この道の駅があって良かった』と思ってもらえるような存在になれば」と語っている。

（吉村謙一）

- ・所在地…奈良県磯城郡田原本町大字唐古70番地の1
- ・営業時間…9:00～18:00 年中無休
- ・施設面積…1,339㎡（道路休憩施設含む）
- ・休憩施設…駐車場85台、トイレ男女計38基
- ・その他施設…農産物・特産品直売所、ベーカリー、カフェ、多目的室、展望エリア、歴史交流エリア、情報エリア、キッズコーナー、授乳室、道路情報施設、EV充電施設 など
- ・問合せ先…0744-33-9170



（左上から時計回りに）田原本町の新しいランドマークになった特徴的な寄棟造りの大屋根／唐古・鍵遺跡史跡公園の風景／遺跡の歴史や中南和地域の観光情報をわかりやすく発信／種類豊富なドッグサンドはモーニングサービスも人気／Kagi Bakery と物販施設の様子